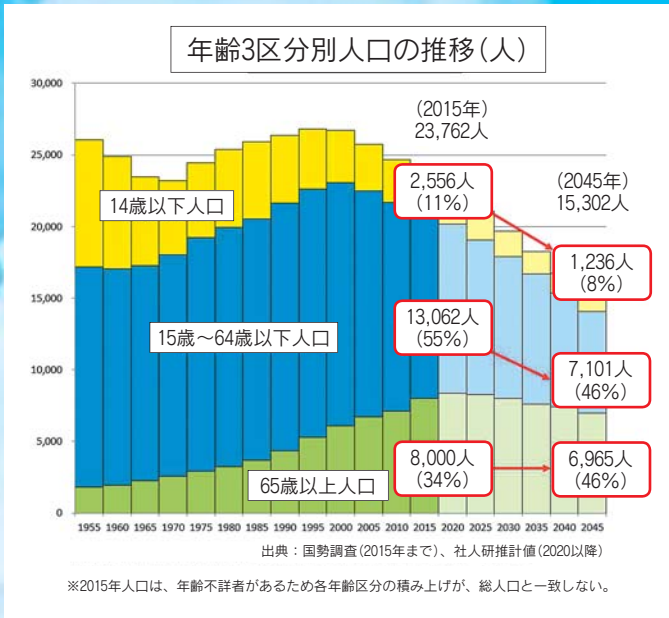


特集 未来に続くまちづくり

多くの人が耳にしたことがある「少子高齢化」。日本では、人口に占める高齢者の割合が増加する「高齢化」と、出生率の低下により若年者人口が減少する「少子化」が同時に進行する少子高齢化社会が進んでいます。町では、若年者層の流出による人口減少が、この問題を一層深刻化させています。



何が問題!?

少子高齢化社会と人口減少

町は、主に国や県からの交付金や町民の方が納める町税を財源として、福祉や教育の充実、医療や衛生環境の整備、消防・防災活動体制の整備、農林水産業・商工業の推進、観光の振興道路を始めとする都市基盤整備など、生活の根幹につながる事業を幅広く担っています。

少子高齢化と人口減少はこの財源の減少に直接関係し、また福祉や介護などに対応するための支出の増大による使途の制約にもつながることから、町に及ぼす影響は多岐に渡ることが想定されます。

この人口減少を抑え、町の活力維持・向上を図り、地域のきずなや人と人とのつながり、助け合いなどを受け継いでいくために、町の重要な施策として位置付けられた「移住・定住」を促進する各種支援があります。

笑いの力で

地域を元気に!



現在、町内の畑をお借りして落花生と長ねぎを栽培中です!

町で活動する千葉県住みます芸人

平成23年4月から、吉本興業(株)が、笑いの力による地域活性化を目的として、全国47都道府県に「住みます芸人」を居住させて取り組む「あなたの街に住みますプロジェクト」。この一環で、千葉県住みます芸人として活動しているのが、うっほ菅原とぼっしーのコンビで結成される「もぐもぐピーナッツ」です。

町内企業を取材に訪れたことがきっかけで、横芝光町との接点が生まれた、と話すお二人。

二年ほど前から農業を通じて町民の方とのつながりが深まり、現在は耕作放棄地の再生に取り組ん